

1 多職種連携の強化

(1) 医療関係者を交えた地域ケア会議

これまでの地域ケア会議の成果を検証し、坂井地区医師会との連携による、ケアマネと医師とのネットワーク強化につながる地域ケア会議の立案・実施体制を検討・構築する。

(2) 多職種参加による学習会・症例検討会

坂井在宅ケアネットによる学習会・症例検討会を、坂井地区広域連合と共催実施する。

2 24時間体制の構築

(1) 主治医バックアップ、訪問看護連携のシステム検討および実証

統括委員会、個別検討部会において、在宅医療の連携システムを検討し、坂井地区内のブロック単位等で実証を行う。

3 情報共有システムの構築

(1) 情報共有システムの検討・構築および実証

統括委員会、個別検討部会において、(民間事業者を交えながら)情報共有システムを検討し、坂井地区内のブロック単位等で実証を行う。

4 効率的な医療・介護提供

(1) 地域包括とケアネットの連携体制の構築

在宅介護サービス利用者の疾病発症時や病状急変時における対応、地域包括支援センターと坂井在宅ケアネットとの連携によるワンストップ相談対応など、介護側が医療側への対応を求める際の連携体制構築に向けた検討・実証を行う。

(2) 訪問看護サービス提供状況の把握・分析

統括委員会、個別検討部会において、訪問看護サービスの現状把握や課題整理を行い、連携システムの構築・実証につなげる。

5 地域住民への普及啓発

(1) 住民集会、出前講座の実施

医師発表DVDによる普及啓発など、より効果の高い啓発事業を試行する。

(2) 在宅医療学習ツールの作成

在宅医療の内容やその良さを伝える学習教材(DVD資料)を作成する。

(3) 在宅医療セミナーの実施

普及啓発の担い手となる住民の養成を目的とした、専門家から在宅医療について学ぶセミナーを検討・実施する。

(4) 啓発パンフの作成・配布

住民目線で在宅医療の不安・悩み・疑問等をまとめたパンフレットを検討・作成する。

6 災害時ケア体制の整備

(1) 災害時における在宅療養者への医療・介護連携対応体制の構築

電動医療・介護機器を利用する在宅療養者を把握するとともに、緊急的に医療を必要とする場合のケアマネジャーと医療関係者の連絡対応体制、災害時に必要な医療・介護提供資機材の配備等について検討を行う。